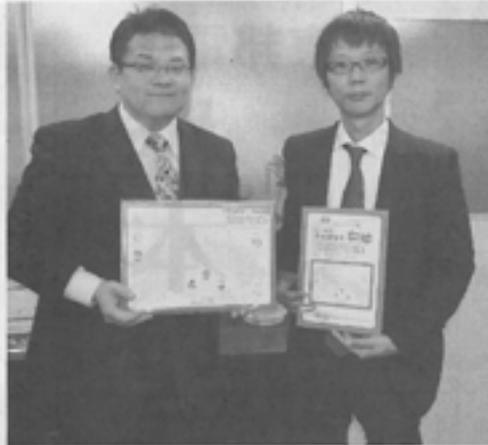


2015年(平成27年)1月20日(火曜日) (2)

相模原のパズル発売

紙触効果で発想力育む



幅広い年代層に楽しんでもらいたいと話す荒井氏(左)

相模原市制60周年を記念

日相印刷が商品化

印刷や企画デザインの日相印刷(相模原市南区麻溝台)はこのほど、同市のPRと市制60周年記念商品として、遊びながら学ぶパズル「びーしーず」を発売した。紙に触れることで、感覚器官や脳を刺激する「紙触効果」も期待している。

(芹澤 康成)

「びーしーず」は、相模原市の22地区と、3区のシンボルマーク、マスコットキャラクター4体の計29ピースで構成。地区型のピースは3区の違い、イメージカラーをベースに、地区名のみが書かれている。

「鉄道路線図や特産物などを描かなかったのは、各ピースの意味を無限大に広げたかった」と、

同社プランニングマネージャーの荒井慶太氏。基本の遊び方は、各地区の名前と形を頼りに並べていき、相模原市の形を完成させるもの。時間を計り動画サイトなどに投稿することで、1分以内で完成させる「レジェンド市民」認定を目指す遊び方も提案する。

購入時に無料で配布する「びーしーずカード」を組み合わせることで、「かるた」ゲームもできる。カードの裏面に書かれた問題を読み上げ、答えとなる地区のピースを選ぶことで、地域の特徴を遊びながら学ぶ。

カードの種類は「サクラ(ピンク)」「ブルー」「グリーン」の3色。ピスは小学生低学年以下向けで、ブルーが小学生高学年以上とレベル分けされている。クリーンの裏面は白紙で、自身で調査した情報などから問題を書き込む。

同社は、「さがみはら」をブランド化すること、自社もブランド化しようとする「相模原WIN-WIN計画」を掲げている。その第一弾として、教育・文化・福祉の活性化につながるものを制作したという。

荒井氏は「子供から高齢者まで幅広い年代層に楽しんでもらえる製品とした。相模原市を盛り上げ、より良い地域づくりに役立ちたい」と話していた。

日相印刷「学習パズルびーしーず」の記事が相模経済新聞に掲載されました。

《キーワード》

- 相模原のPR
- 市制施行60周年記念
- 相模原のパズル
- 遊びながら学ぶパズル
- 紙触効果
- さがみはらのブランド化
- 相模原WIN-WIN計画
- 教育・福祉・文化の活性化
- 子供から高齢者まで

プレゼントなら



びーしーず
電話 042-748-6020

あなたなら



<http://www.print-nisso.com/>

印刷なら



日相印刷
電話 042-748-6020

AGAMI-Xをはじめ、市内の文具店や書店、北里大学売店などで取り扱っている。